

教科名	工業	科目名	衛生・防災設備				
科目の目標	衛生・防災設備に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。						
履修学年	3学年	学科・コース	電子機械科・設備システムコース				
単位数	2単位	授業形態	コース別授業				
教科書	衛生・防災設備	副教材等	なし				
1 学習の目標	<p>1、各種建築物の給排水衛生設備防災設備などに関する基礎的な知識、及びこれらの設備を構成する各種機器の構造、性能、用途及び配管法が理解できる。</p> <p>2、衛生防災設備を合理的に設計することができる能力と、これらに取り組む態度を育てる。</p>						
2 学習内容と進め方	教科書の内容を中心に、他の科目、「空調設備」、「設備製図」、「設備実習」、「工業基礎」、「原動機」、「物理」、「化学」、「数学」などとの関連を考えながら学習を行います。						
3 学習の留意点	<p>1、人間生活に密着した衛生防災に関する知識と技術を習得する。</p> <p>2、衛生防災に関する知識と技術を実際の場で活用できる力をみにつける。</p> <p>3、新しい技術について学習する。</p>						
4 評価の方法	<p>1、定期考査において、「知識・理解」「思考・判断・表現」を中心として、学習の定着度を評価します。</p> <p>2、「関心・意欲・態度」「技能」については、毎時間のノートや発言を中心に評価します。</p>						
5 授業計画							
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等			
4	第1章 給水・給湯設備	第1節 水資源と上水道	<p>【関】人間生活に密着した給水・給湯設備に関心や探求心を持ち意欲的にそれらを追求する姿勢がある。</p> <p>【思】合理的で安全かつ効率の良い給水給湯設備の計画方法を身につける。</p> <p>【技】給水・給湯設備の基本的な技術を身につけ実際の仕事を合理的に計画しその成果を的確に表現する。</p> <p>【知】給水・給湯設備の基本的な知識を身につけ演習社会における工業の意義や役割を理解している。</p>	<p>1 学期 期末考査</p> <p>この単元を 自己評価してみよう A B C</p>			
5		第1 水資源 第2 上水道					
6		第2節 給水・給湯に関する機器と構成					
7		第1 給水・給湯機器 第2 給水方式					
8		第3節 給水・給湯設備と配管機器の設計					
9		第1 給水設備の設計 第2 給湯設備の設計					
10		第2章 排水通気設備			第1節 排水と下水道	<p>【関】人間生活に密着した排水通気設備に関心や探求心を持ち意欲的にそれらを追求する姿勢がある。</p> <p>【思】合理的で安全かつ効率の良い排水通気設備の計画方法を身につける。</p> <p>【技】排水通気設備の基本的な技術を身につけ実際の仕事を合理的に計画しその成果を的確に表現する。</p> <p>【知】排水通気設備の基本的な知識を身につけ演習社会における工業の意義や役割を理解している。</p>	<p>2 学期 中間考査</p> <p>2 学期 期末考査</p> <p>この単元を 自己評価してみよう A B C</p> <p>学年末考査</p>
11		第1 排水の種類 第2 排水の方式 第3 下水道施設					
12		第2節 排水通気設備と配管機器設計					
1	第1 排水トラップ 第2 排水管内の流れ 第3 排水管の管径 第4 排水設備機器 第5 通気系統 第6 雨水排水系統 第7 配管方法						

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。